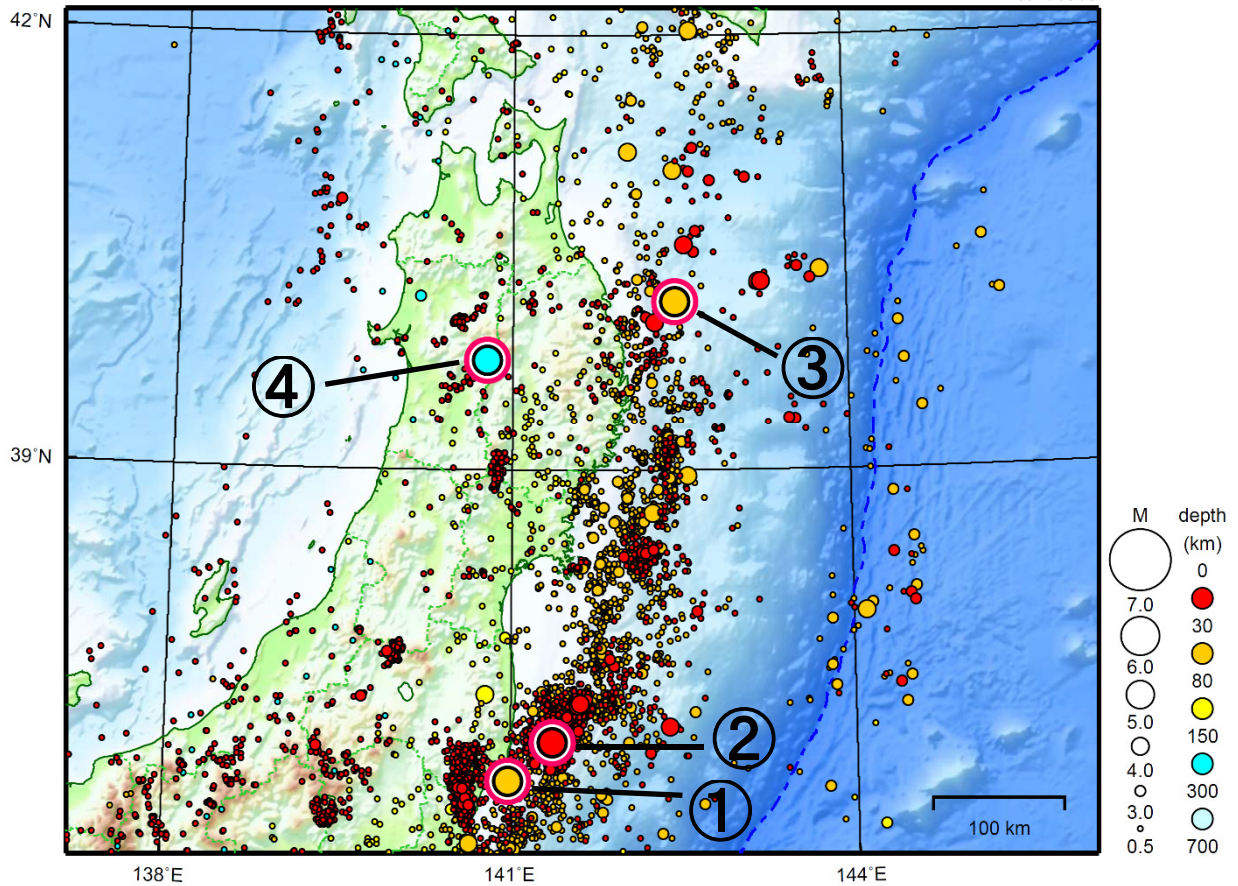


東北地方

2017/01/01 00:00 ~ 2017/01/31 24:00

N=11819



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

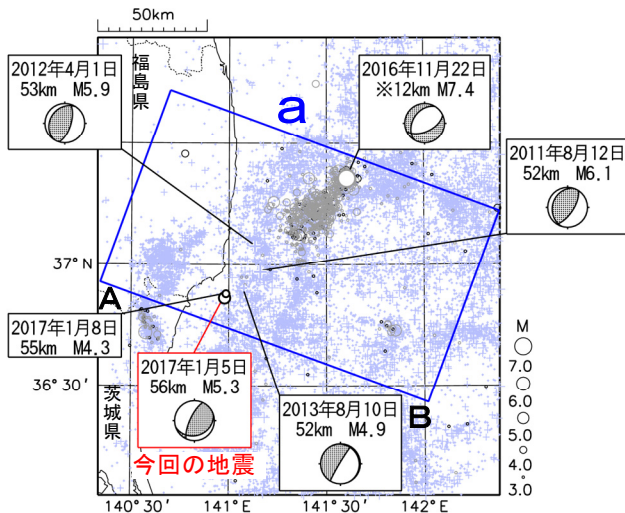
- ① 1月5日に福島県沖で M5.3 の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 1月5日に福島県沖で M5.6 の地震（最大震度4）が発生した。
- ③ 1月26日に岩手県沖で M5.2 の地震（最大震度3）が発生した。
- ④ 1月28日に秋田県内陸南部で M5.0 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

1月5日00時43分 福島県沖の地震

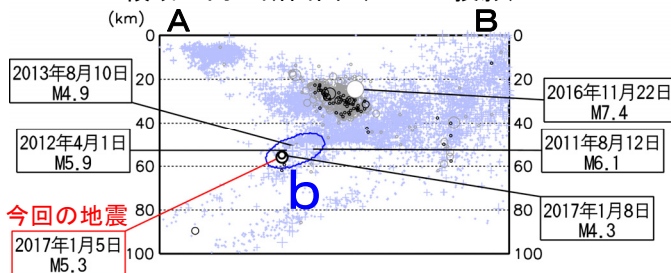
震央分布図
(1997年10月1日～2017年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2016年11月21日以前に発生した地震を+、
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、
2017年1月以降に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



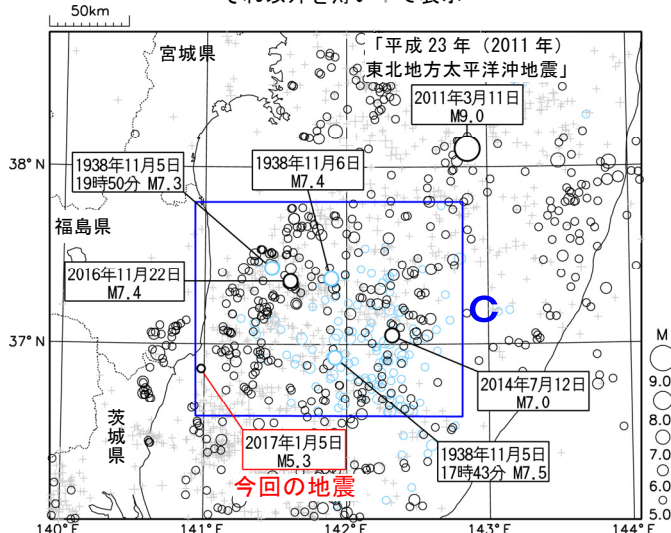
※2016年11月22日の地震 ($M 7.4$) の深さはCMT解による。また、この地震の発生直後には、未処理の地震が存在している。

領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2017年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

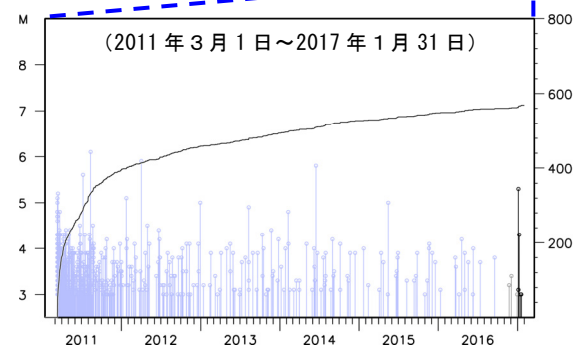
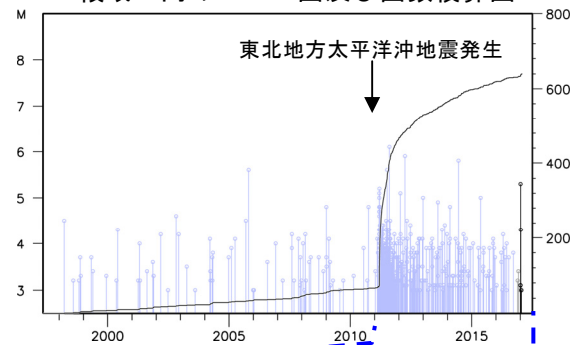


2017年1月5日00時43分に福島県沖の深さ56kmで $M 5.3$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ を超える地震が発生するなど、普段から地震活動がみられ、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日に $M 7.5$ の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm(全振幅)の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までに $M 6.0$ 以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

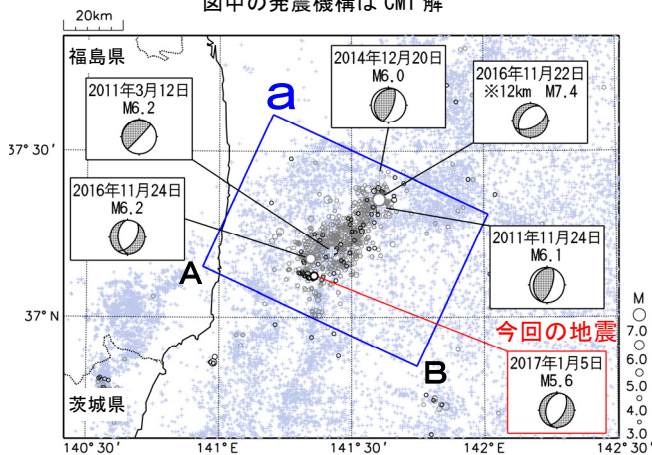


1月5日02時53分 福島県沖の地震

震央分布図

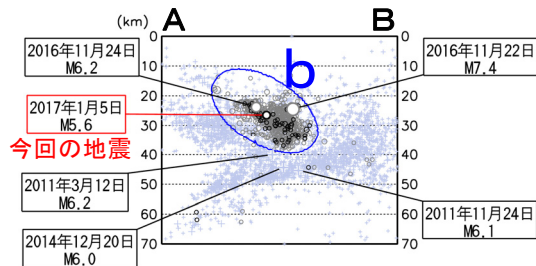
(1997年10月1日～2017年1月31日、
深さ0～70km、 $M \geq 3.0$)

2016年11月21日以前に発生した地震を+、
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、
2017年1月以降に発生した地震を濃い○で表示
図中の発震機構はCMT解



※2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。また、この地震の発生直後には、未処理の地震が存在している。

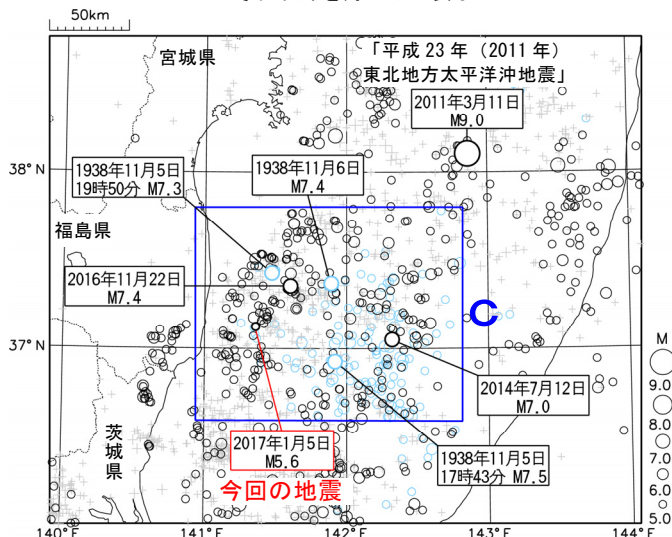
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2017年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

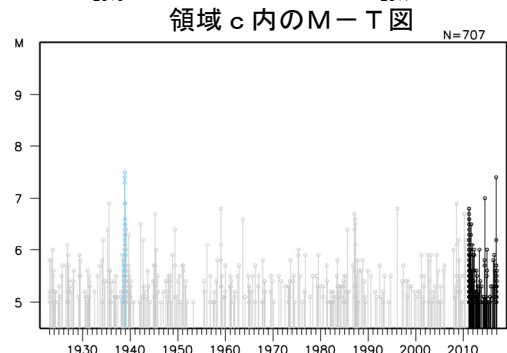
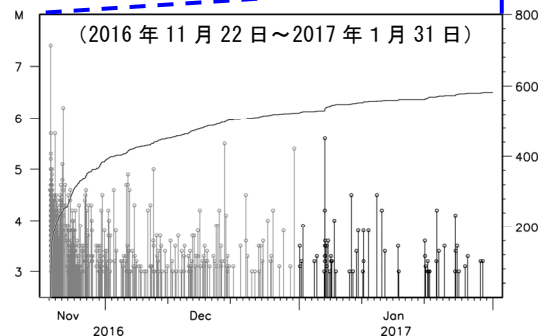
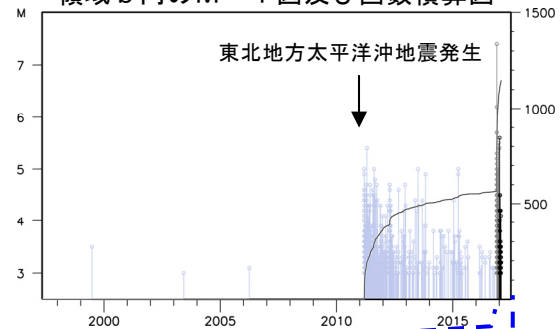


2017年1月5日02時53分に福島県沖でM5.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発化した。地震活動が減衰傾向にあった中で、2016年11月22日にM7.4の地震が発生し、地震活動がさらに活発化し、本地震を含み1月31日までにM5.0以上の地震が14回発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1月26日 岩手県沖の地震

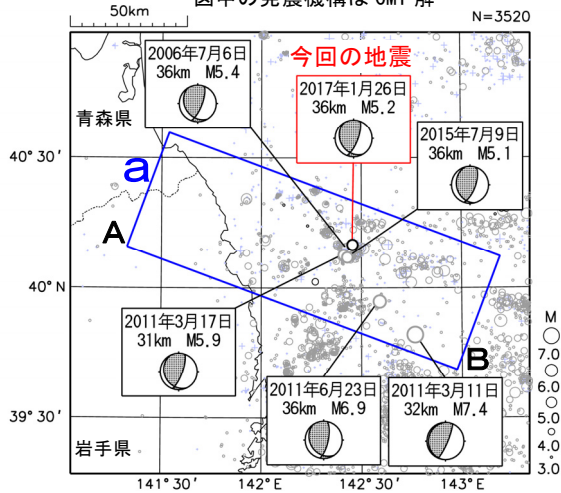
震央分布図

(1997年10月1日～2017年1月31日、
深さ0～70km、 $M \geq 3.0$)

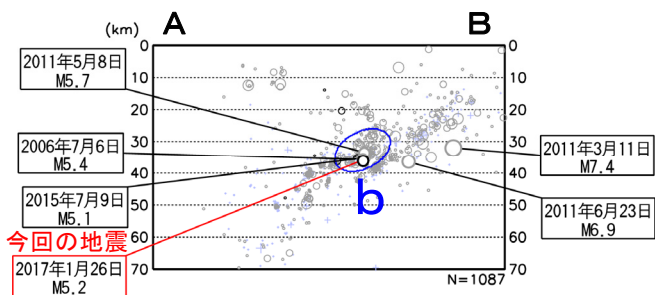
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○

2017年1月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解



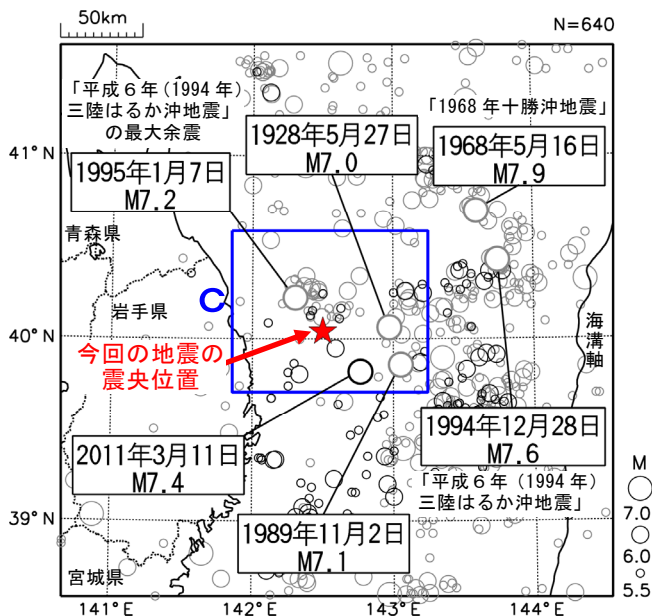
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1923年1月1日～2017年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.5$)

東北地方太平洋沖地震発生以降の地震を濃く表示

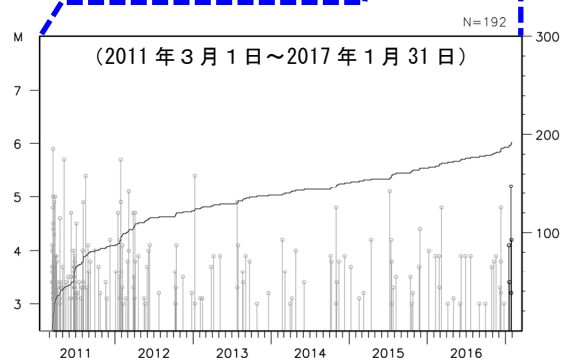
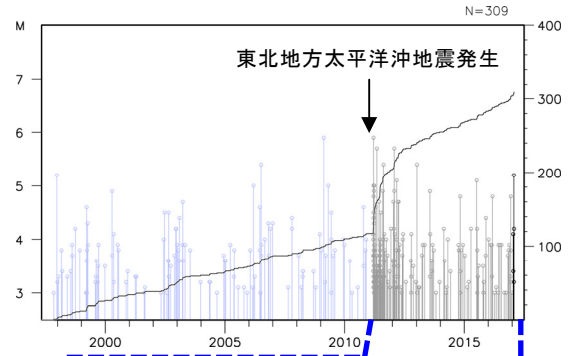


2017年1月26日17時06分に岩手県沖の深さ36kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

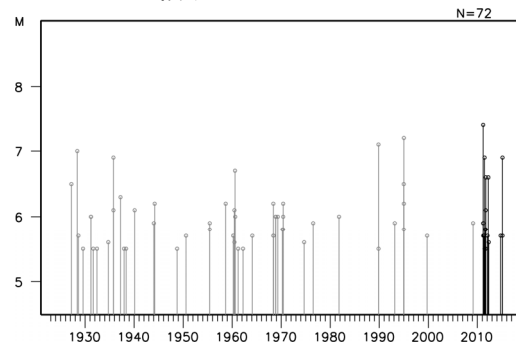
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1995年1月7日に「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震（M7.2、最大震度5）が発生しているほか、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



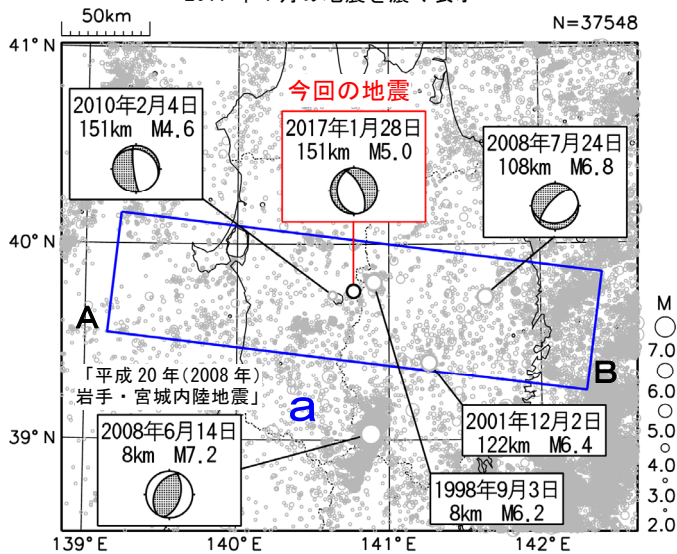
領域c内のM-T図



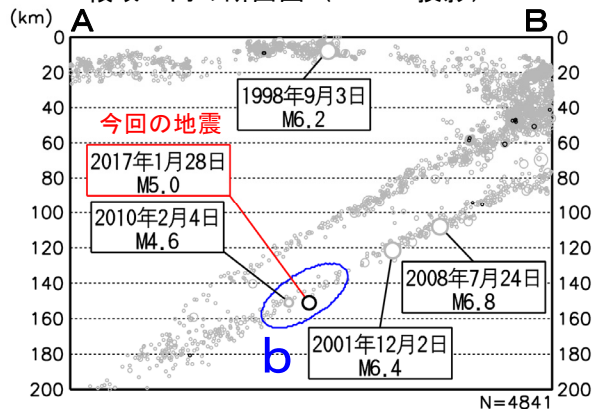
1月28日 秋田県内陸南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2017年1月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.0$)
2017年1月の地震を濃く表示

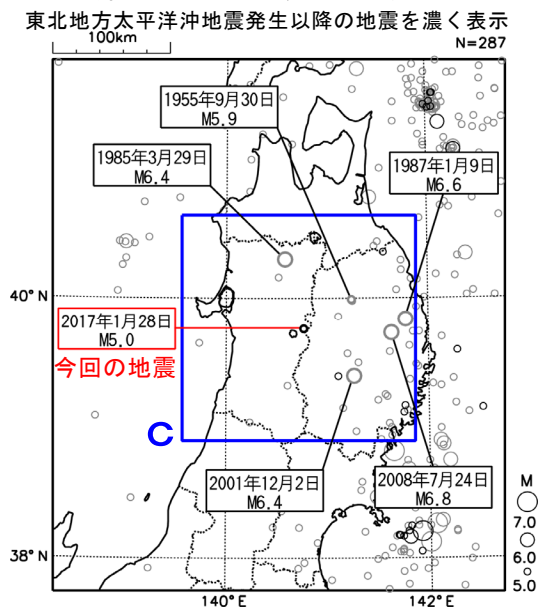


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2017年1月31日、
深さ50～200km、 $M \geq 5.0$)
東北地方太平洋沖地震発生以降の地震を濃く表示

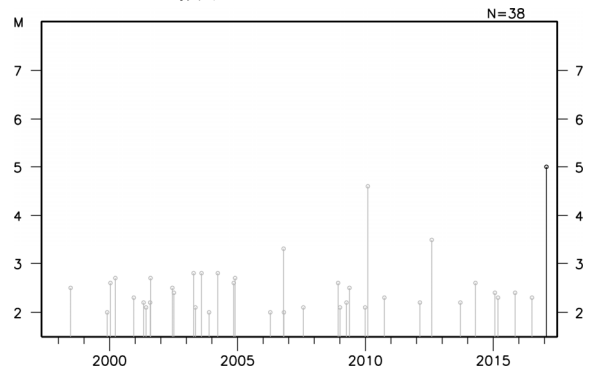


2017年1月28日22時40分に秋田県内陸南部の深さ151kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生したもので、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0を超える地震は2010年2月4日に発生したM4.6の地震（最大震度2）のみであった。

1923年1月以降の活動をみると、今回の震央周辺（領域c）では、太平洋プレート内部でM6.0程度の地震が時々発生している。2008年7月24日にM6.8の地震（最大震度6弱）が発生し、死者1名、負傷者211名、住家全壊1棟、住家一部破損379棟などの被害が生じた。また、2001年12月2日にM6.4の地震（最大震度5弱）が発生し、住家一部破損2棟、文教施設8棟などの被害が生じている。（被害は総務省消防庁による）

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

